

山田京子の 議会報告

平成26年第1回定例会
2月20日～3月18日



過去最高額の予算が成立
千葉市2014年度予算

総額7987億6100万円

新年度は税収が前年度比50億円増と見込まれる一方、生活保護等扶助費の増、建設関係事業の伸びで支出も増えること等から、過去最大で昨年度より6.7%増の大型予算となりました。市民ネットワークとしては、若干の懸念はあるものの評価できる事業も多々あり、財政健全化は少しずつ進んでいることから、賛成としました。

千葉駅西口B工区については、駅前の賑わいづくりに新たなビル建設がふさわしいとは考えられないことから、この特別会計予算の議案のみ反対をしました。

代表質疑から

サービス付き高齢者向け住宅 建設ラッシュ

注意が必要

高齢者の増加に伴って、単身又は夫婦だけの高齢者の住まいを確保することは重要な課題で、国は、補助金と優遇税制、融資でサービス付き高齢者向け住宅（Ⅱ「サ高住」）の増設を促しています。各戸25㎡以上、トイレ・洗面所付き、バリアフリー構造で、サービスの最低基準は、安否確認と生活相談です。

「サ高住」は若葉区でも目立つようになり、市全体では2013年末時点で入居可能なものは21カ所、785戸で入居者は482人とこのことさらに増え続けています。事業者や場所、サービスによって利用料には開きがありますが、概ね毎月18～22万円（家賃、食費、共益費、光熱費など含む）かかると言われていて、各自の介護保険サービスは利用料には含まれず、個人で契約するため、費用が膨れ上がることも想定されることから、注意が必要です。

良心的な事業者がある一方で、他自治体では不適切な対応の事業者も出てきており、トラブルが起きないか心配です。

市に問うと、住宅管理については、市の住宅政策課、サービスに関しては高齢福祉課、また、サービス付き高齢者向け住宅協会が相談を受けること。さらに、事業者に定期的な報告を求め、必要に応じ立ち入り調査を行うとのことでした。サービスや住宅の質が確保されるよう市に監視指導を厳しく行ってほしいと要望しました。



若葉消防署跡地にも「サ高住」建設予定



災害時こそ女性の力を 活かそう！

東日本大震災では、避難所で女性が性被害にあったり、無報酬で食事の提供に長期間従事させられたり、更衣室がない、洗濯物が干せないなど、女性特有の困難さが浮き彫りになりました。その大きな要因は、災害対応のリーダー層に女性が少なく、意見が反映できなかったことです。

千葉市のこれまでの防災リーダー養成講座の参加呼びかけは、自治会や防災会役員にとどまっていたため、女性の参加者が少なかったことが問題でした。

新年度、女性の参画をどう促すかを聞いたところ、防災ライセンス講座において女性限定の開催や、参加しやすい日程を設けるほか、女性や子供に配慮した避難所運営や、女性用備蓄品の整備の考え方等、多様な視点を入れたカリキュラムにするとの考えでした。

議会の中では市民ネットワークが唯一、防災に女性の参画を求める質問を続けていたことで成果が表れ、市の防災会議に「男女共同参画の視点を取り入れる部会」が設けられ、そこでの意見が新年度の事業にも生かされる予定です。

私たち市民ネットワークは、男女共同参画センターとの連携も求めながら、女性だけでなく、障がい者や少数の立場の人たちの意見が防災に生かされるような取り組みを提案していきます。

市政トピックス

中学3年まで医療費1回 今年夏から開始



今年8月より、子ども医療費のうち通院費助成の対象が小学3年生までから、中学3年生までに広がります。

市長はマニフェストで、通院医療費助成を小6まで引き上げるとしていましたが、1回300円で小6までにするか、1回500円で中3までにするか、どちらがいいのかのアンケートをとったところ、高学年の家庭ほど中3までの希望が多く、小3までの300円は据え置いたまま、小4～中3までを500円とすることに決めました。

財政厳しい中の助成の拡大で、4億8千万円を市は追加することになります。

私たちが求めてきましたし、子どものいる家庭にとっては大変ありがたい助成ですが、使う側も過剰に受診をしないよう、ふだんの健康管理や上手な医者のかかり方を身につけたいものです。

保護者負担	通院1回	小3まで	300円、
		小4～中3	500円
	入院1日	中3まで	300円（これまで通り）

※なお、市民税所得割が課税されていない方は通院・入院とも無料

交番はどいつ？

昨年、高齢の女性が都賀駅前で交番の場所がわからず困っていたという声が市民ネットワークに届きました。

そこで市や県に働きかけて、都賀交番の場所がわかりやすくなるよう対策を考えました。その結果、交番に赤色回転灯がつき、駅前の案内板にも交番の位置が記されるなど改善が図られました。

これからも「こんな小さなこと・・・」と思わずに声をお届け下さい。一緒に街を住みやすくしていきましょう。



都賀交番前にて、市民ネットワークのメンバー、区長、地域振興課、市民サービス課、公園緑地事務所、土木事務所の職員が一緒に対策を考えました。